

・実体のない住民実行委員会主催 = NUMO 主催！

町長に住民説明の意思はない！

4月7日玄海町 課長

（7日は、NUMO が準備事務局として開催する「対話の場」に対する質問、要請を行いました。要請先 玄海町町長、対話実行委員会、NUMO）

今回の誘致問題は直前の対馬誘致失政を繕うかのような国の後押し、電光石火、住民不在の玄海町長決定。強引な国権と原子力政策の破綻を目の当たりにしました。

タブー視されてきた原発立地自治体に挙手させる、補助金目当て許容とも思われる誘導政策がおこなわれました。今後手を揚げる地方がでてきても、単なる決定の先延ばしと血税の垂れ流しになることはあきらかです。

玄海の地はすべての意味で処分最不適地であることは自明です。

- ・住民の賛同なし。議会・町長の暴走
- ・原発の存在。ありえない巨大危険施設の重複
- ・玄海トリチウム汚染。稼働以来無断で放出継続日本一、公と企業協力の原発敷地公園
- ・科学的特性マップに不適。能登地震により信頼性は否定された、白紙撤回、責任問題
文献調査に4年？マップ作成時に調査済み？これもコンサルタントとまかせ？
- ・地政学的不適（軍事的緊張地、ミサイル標的、海流・偏西風の全土影響）
- ・リアス式狭小地。36Km²に10Km²
- ・未知の海底断層。石炭層の点在。 * 「第4紀火山加唐島の存在」
- ・海底300～500mの掘削実証無し。（幌延、瑞浪の掘削実験所）
- ・地下水大規模汚染。福一汚染水、PFAS/PFOS
- ・日本学術会議答申（2012）。
- ・地質学有志300名による処分適地無し宣言（2023）。
- ・ドラム缶処理のTRU 廃棄物は無視？
- ・唐津/玄海「コスメティック構想」に大障害
- ・佐世保基地・長崎大BSL-4施設・大都市福岡

過疎と経済停滞に悩む原発立地住民に、国家・民族の存亡にかかわる判断を正しい情報を提供せずに押し付ける政策はまさに終末的政策。マップは白紙に戻し再構築。

地元首長の同意なしに次の段階に進めない「大臣発言」は明白な詭弁。

すでに風評被害は進行しており、止める手立てはない。

今こそ自公30年の原子力政策の抜本的見直しがもとめられている。

核ごみおことわり！10万年先の子どもも守る九州の会

共同代表 北川浩一 石丸初美 (09079265591 北川)

4/7 記者会見（於玄海町）に加筆